

令和6年11月8日

「富士市とグリーンデジタル&イノベーション株式会社との 協力と連携に関する協定」の締結について

本市は、グリーンデジタル&イノベーション株式会社と市内の林業や木材産業の発展、地域経済の活性化を目指すため、「富士市とグリーンデジタル&イノベーション株式会社との協力と連携に関する協定」を締結することとなりました。

記

1 協定締結に至った本市の背景

- ・市内面積の約49%、約12,000haが森林であり、豊富な森林資源を有している。
- ・特にスギ、ヒノキ人工林は、植栽から40年以上が経過し、伐採の適期を迎えた森林は約9割となっているため、間伐等の森林整備を適正に実施し、森林資源として循環利用することが求められている。
- ・市内の森林資源を適正に循環利用していくためには、市内森林から生産される木材（以下「富士市産材」）のさらなる利活用が必要だが、森林整備・木材生産、製材加工、流通販売の各分野で様々な課題があり、木材の利活用が進んでいない。
- ・グリーンデジタル&イノベーション株式会社とは、富士市産材を活用したフジ ヒノキ メイド FUJI HINOKI MADE製ワークブース「ウーボ WOORO」の製作・活用（市テレワーク実践会議室などに設置及び販売、ふるさと納税品への登録）や、「富士山麓ブナ林創造事業」への参加などのつながりがこれまであったことから、今回の協定締結に至った。

2 協定の目的

- ・相互に連携、協力し、富士市の林業と木材産業の発展や、地域経済の活性化を目指す。

3 協定の概要

- ・富士市とグリーンデジタル&イノベーション株式会社が双方の資源を有効に活用し、協働することで、富士市産材の販路開拓や拡大、富士市内の森林整備・木材生産、製材加工、流通販売までのサプライチェーンの効率化、林業・木材産業における ICT 導入の研究、担い手の確保等を実施する。

4 期待される効果

- ・富士市産材の全国での認知度が向上するとともに、新たな販路開拓を実施することで、富士市産材のさらなる需要が生まれる。
- ・富士市産材の循環利用が促進されるため、市内の林業、木材産業がさらに活性化するとともに、新たな雇用も創出され、市内の森林が適正に管理された状態になる。

5 グリーンデジタル&イノベーション株式会社の概要

- ・設 立 令和3年5月25日
- ・所在地 東京都江東区豊洲1-1-1（BIPROGY 株式会社本社ビル内）
- ・代表者 代表取締役 井福 陽一
- ・資本金 3億6千万円
- ・株 主 BIPROGY 株式会社100%子会社
- ・事業概要 林業・木材流通のDXと国産材の利活用推進を目指す「キイノクス プロジェクト」を進めており、サプライチェーンのデジタル化、木質による空間デザイン・施工、木製家具什器や未利用材を活用した高付加価値商品等の製作・販売などを事業の柱としている。

6 協定締結式

日時／令和6年11月8日（金曜日） 市長定例記者会見終了後30分程度
場所／富士市役所10階全員協議会室（富士市永田町1-100）

問合せ
産業交流部林政課
電話／0545-55-2783 内線 2574
FAX／0545-55-2897
e-mail／rinsei@div.city.fuji.shizuoka.jp



いただきへの、はじまり 富士市